

## 修了評価の方法

修了評価	<b>A 介護技術の習得（9 ところとからだのしくみと生活支援技術）</b>
	<b>【評価方法等】</b> 本校チェックシートによる「○、△、×」の3段階評価において 「○」を合格点とする （「△」「×」は不合格）
	<b>【介護技術の習得が不十分と考えられる受講者への対応方法等】</b> 不合格項目の補講を行い到達目標（3段階評価の「○」）に達するよう努める。
	<b>B 筆記試験（全科目修了後）</b>
合格要件	<b>【評価方法等】</b> ① 出題形式：選択式 ② 合格水準：70点 ③ 問題数：50題 ④ 科目ごとの問題数の配分： 介護における尊厳の保持・自立支援（4題） 介護の基本（4題） 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（8題） 介護におけるコミュニケーション技術（4題） 老化の理解（6題） 障害の理解（5題） 認知症の理解（6題） ところとからだのしくみと生活支援技術（9題） 事例問題（4題）
	<b>【所定の水準を超えず、知識等の習得が不十分と考えられる受講者への対応方法等】</b> 不合格項目の補講を行い到達目標（合格水準の70点）に達するよう努める。
	<b>A 介護技術の習得（9 ところとからだのしくみと生活支援技術）</b> <b>B 筆記試験（全科目修了後）</b> <b>A、B共に合格水準を満たすこと</b>